

①荒唐無稽編

建機メーカーC社が主催するゴルフの女子オープン。華やかな女子プロに混じってなぜか石川遼が出ている。当然ながら初日からトップに立ち、3日目で優勝が確定的となった。その頃我社では『副賞』を届けなければならぬということになり、白いダンブにのぼりを立て碎石を積んでいざ会場へ出発。試合は予想通り石川君の優勝で幕を閉じ表彰式。司会者から『副賞碎石一年分』と紹介され石川君へ我社の碎石が進呈されたのである。石川君曰く『めずらしくて貴重な物をいただきありがとうございます』とコメントをいただき意気揚々と二戸へ帰ったのである。

②夢のまた夢編

なぜか世界中のマスコミを集めて記者会見をしている。「我社ではこの度世界に類をみない破碎方法を開発し、星型の碎石『スターストーン』を生産販売することとなりました。」発表するいなやまたたく間に世界中から引き合いがあり、6ヵ月後上海支店、ニューヨーク支店、ドバイ支店を開設する。さらに特殊塗料の開発に成功し夜でも蛍光色に輝く『スーパースターストーン』を販売、こうして石は、その用途を建設用材料から爆発的に広げたのであった。めでたしめでたし。

③希望編

20××年、選別技術が飛躍的に進歩し、比重、形状、色、鉱物組成ごとの選別が低コストで可能となった。また、岩盤深査マシン「岩人28号」が実用化され、地中100mまでの岩石密度と鉱物組成が3次元1m単位で把握できるようになった。

この技術革新により、密度、吸水率は思いのまま、実積率や化学的耐久性も自由自在に制御できることとなった。

それに伴い碎石は、より多様なニーズに対応できることとなり、「路盤用白色系耐久型、最大粒形40mm、密度2.65、実積率69%の碎石」とか「コンクリート用青色系超耐久型、最大粒形20mm、密度2.73、実積率65%の碎石」というように、従来では考えられないような品質管理レベルが達成され、新たな用途開発が進み、価格も5倍となった。

こうして碎石業は元気回復。日本は明るい未来へと向うのである。

『現実』をおもう

負の連鎖と言われている。誰も断ち切りたいおもいであろう。あるべき姿すら見えていないのかもしれない。しかし、『大きくなったらプロの野球選手になりたい!』的な夢は持ちたいものだ。そこが『スタートライン』なのだと思う。

なにげに・・・

事務所にうるおいをと思い、百円ショップから1500円相当のツリーグッズを買い観葉植物(不明)にクリスマス飾り付けをした。秘かに従業員の反応を期待していたのだがほとんど反応がない。うるおったのだろうか・それにしてもクリスマスと称し重い衣装を着せられ細い身体で耐え込んだ観葉植物にとってはご苦労なことでありました。



昨年中はご愛顧いただきまして誠にありがとうございました。今年もまだ厳しい年となりそうですが、お客様に「やっぱりフクタクだ」といわれるよう努力を提案していただける社員一丸となって努力をします。ご指導、ご助言のほど宜しくお願いいたします。

平成二十二年 元旦

謹賀新年



転ばぬ先に杖を 1

HD255(原石ダンブ)2号車のデフからオイル漏れが発生しました。以前から兆候はあったのですが、修理を先送りしていたツケを払われる格好となりました。ベアリング交換、シャフトの旋盤加工等外料手術をし、10日間の入院加療の後復帰。その間原石輸送能力は半減したのですが、幸か不幸かさほどの忙しさではなかった為、なんとかしのぐことが出来ました。日頃の点検整備を怠ることで、思わぬ修理費用の増大や機会損失をまねくと身にしてみました。



転ばぬ先に杖を 2

かねてより懸案だったサツバ沢地区運搬路の改修を実施しました。カーブと勾配の緩和、幅員の拡巾、土堤の整備を施工し、写真ではわかりづらいのですが平均勾配で2%程度緩和されました。冬季間の安全と効率が向上されるものと期待しています



編集後記

昨年は新型、旧型取り混ぜてインフルエンザが大流行しました。お正月を新春といいますが、冬はこれからが本番。厳しい冬も、もっと厳しい経済情勢も乗り切るためにはやはり体力。健康を留意して頑張りましょう。

今年もよろしくお祈りいたします。

フクタクニュース

発行



(株)フクタク

碎石部

